

子どもに
やさしい
まちづくりPJ

-vol.10-

子どもに やさしい学校

※PJ=プロジェクト



児童会三役の活動

町内各学校で取り組まれて
いるCFCEI子どもにやさ
しいまちづくり。早来学園、
追分中学校と紹介し、最後は
追分小学校の取り組みです。

日常生活の中で活かす CFCEI

子どもにやさしいまちの定
義を安平町では、「子どもが
あたり前に意見ができる」
「子どもたちが安心して遊べる」
としています。また、令和5
年4月に制定されたことも基
本法の条文には「子どもと共
に考える」ことについても触
れられています。追分小学校
では、これらを踏まえた上で
特別な何かをするのではなく、
日常の学校生活や教育活動レ
ベルで実践することを重視し

ています。

子どもたちにはこれまで、「気持
ちのよい挨拶で追分小を明る
く楽しい学校にしよう」と話をし
てきました。そうした中、子ど
もたちは登・下校に加え、校内
でも元気で爽やかな挨拶を欠か
さずしています。新学期が始ま
って二か月が経とうとしていま
すが、気持ちのよい挨拶はどん
どんと増え、「校長先生！」と
名前を呼んでくれたり、立ち止
まってお辞儀をしてくれたり、
私よりも早く遠い場所から挨拶
をしてくれたりする子どもも見
られます。とても嬉しく、子ども
たちの挨拶から毎日パワーをも
らっています。

「学校だより」より一部抜粋

子どもの思いだけで学校が
つくられるわけではありません
。先生たちも学校をつくる
仲間の一人です。先生たちの
思いも対等に共有され、「子
どもがあたり前に意見できる」
子どもにやさしい学校がつく
られていきます。上記の校長
先生の思いは児童会へと伝播
しました。児童会が中心とな
って開催された1年生を迎え
る会では、全児童がお互いを
知ることができるような工夫
がなされ、2学期には「友だ
ち100人心は一つ♡」とい
う企画が生まれました。一番
身近にいる仲間へ感謝の気持
ちを伝えるメッセージが校内
に掲示され、学校中が温かい
気持ちで包まれていきました。

CFCEIを特別にしない

早来学園のルールメイキン
グプロジェクトは画期的な取
り組みです。先進事例と言っ
てもいいでしょう。追分中学
校の調査研究を踏まえた町へ
の提言も先駆的なものです。
ただCFCEIとは何も特別な
ものではありません。自分た
ちに関わる問題について、子
どもが当たり前に意見できる
というのは今までの学校でも
取り組んできたことです。学
級会で、児童会・生徒会で、
そして授業の中でも。

子どもの意見を聞くことを
特別ではなく当たり前のこと
とする。そんな素地が安平町
の学校に生まれつつあります。

